

令和4年度

# 事業報告

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆめクラブ神奈川  
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

## はじめに

神奈川県老人クラブ連合会は、令和3年度に創立60周年を迎え、その歴史の上に立って、令和4年度をスタートさせました。

この3年間のコロナ禍の中、老人クラブや会員の減少という困難に直面しながらも、老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織として、友愛の精神のもと、仲間づくりや健康と生きがいくくり、サークル活動など生活を豊かに楽しくする活動を行うとともに、高齢者の知恵や経験を生かし、友愛活動、奉仕活動、地域文化の伝承活動等地域を豊かにする社会活動に取り組んでいます。

令和4年7月1日現在で、県内の31の市町村老人クラブ連合会に属する1,287の老人クラブ（会員61,666人）が、こうした明るい長寿社会と保健福祉の向上を目指した活動をしています。

神奈川県老人クラブ連合会ではこのような諸活動を支援することを目的として、

『か』かがやいて元気に生きる、『な』なかまを広げて仲良く生きる

『が』学習・参加で豊かに生きる、『わ』わくわくニコニコ楽しく生きる

の4つの基本方針に基づき、県からの委託事業や補助事業を活用して、健康づくり実践教室や事業活動基金を活用したニュースポーツ交流の集い、ゆめクラブ大学等による健康づくり、生きがいくくり事業に、また、主要事業である高齢者相互支援事業（友愛チーム活動）では、話し相手や日常生活の支援など、高齢者相互の支援活動を進め、「社会奉仕の日統一活動」では公園や道路等の清掃などの美化活動、環境に優しい活動に取り組みました。

また、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から脱却すべく、少しずつ、今までの老人クラブ活動を取り戻していった年でした。コロナ禍の経験の中で、できなかったこと、挑戦したこと、老人クラブでの地域の活動の大切さをあらためて知る機会ともなったのではないのでしょうか。ねんりんピックかながわ2022地域文化伝承館でも、多くの人クラブ会員による活動発表やステージでの熱演も披露され、あらためて、老人クラブの活動の大切さを自覚できたと思っています。

令和4年度に実施した事業の詳細については、次頁以下のとおりですが、この一年間、会員皆様方のご理解ご協力のもとに、厳しい環境の中においても円滑な事業運営が果たすことができましたことに深く感謝いたします。

## 目 次

### I 事業報告

『か』 かがやいて元気に生きる	
1. 健康活動に関する事業	1
2. 生きがい及び文化活動に関する事業	3
『な』 なかまを広げて仲良く生きる	
1. 高齢者相互支援事業に関する事業	3
2. 社会参加活動に関する事業	3
『が』 学習・参加で豊かに生きる	
1. 市町村老連の強化及び指導者の養成	4
2. 広報活動事業の実施	5
3. 調査及び情報の収集提供等	6
『わ』 わくわくニコニコ楽しく生きる	
1. 役員会の開催	6
2. 老人クラブの組織の強化	6
3. 各種大会、つどい等の開催及び参加	7
4. 連絡調整事業の実施	7
5. 財政基盤の確立及び募金運動の展開	8
ねんりんピックかながわ 2022 地域文化伝承館への準備	9
専門部会による活動	9
令和4年度新規・重点事業への取り組み	10

# か

## かがやいて元気に生きる

### 1 健康活動に関する事業

#### (1) 高齢者健康づくり実践教室の実施

高齢者が自らの心身の状況を把握し、日常から健康づくりを続けることを目標に、湘南ブロックと相模原ブロックでの開催を予定していたが、新型コロナウイルスへの心配やブロック事業の見直しから実施できなかった。ブロック事業として取り組みやすい方法などについて検討していく。

#### (2) ニュースポーツ交流の集いの開催

高齢者向けのニュースポーツの普及と健康づくり並びに交流を目的に、事業活動基金を活用している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症への対応も行いながら、計画通り実施された。

##### 西湘ブロック

実施日：令和4年6月2日

会 場：酒匂川スポーツ広場

参加者：134人

内 容：グラウンドゴルフ

##### 湘南ブロック

実施日：令和4年11月16日

会 場：伊勢原市総合運動公園自由広場

参加者：157人

内 容：グラウンドゴルフ

##### 横三ブロック

実施日：令和4年10月21日

会 場：逗子市池子の森自然公園 陸上競技場

参加者：200人

内 容：グラウンドゴルフ

##### 県央ブロック

実施日：令和4年10月27日

会 場：海老名市運動公園総合体育館

参加者：48人

内 容：ニチレクボール、キャッチング・ザ・スティック

##### 足柄上ブロック

実施日：令和4年11月18日

会 場：開成町福社会館

参加者：74人

内 容：カーレット

##### 相模原ブロック

実施日：令和4年11月8日  
会 場：相模原市北公園スポーツ広場  
参加者：282人  
内 容：グラウンドゴルフ

(3) 健康チャレンジフェアかながわへの参加

健康チャレンジフェアかながわ実行委員会（かながわ健康財団等 24 団体）が主催する健やかで心豊かな暮らしの実現と健康寿命日本一を目指して、健康づくり実践活動の普及・啓発を目的に開催してきた「健康チャレンジフェアかながわ」の Zoom 会議(9月1日)に参加した。

○健康チャレンジフェアかながわ2022の開催(令和5年1月29日)

(4) 高齢者社会参画・生きがいつくり支援事業（県委託事業）

地域での健康づくり活動、生きがい活動、友愛活動等に取り組む老人クラブ活動との連携・協働により、健康寿命日本一に向けた高齢者の健康づくり、生きがいつくりによる介護予防を推進した。

《ゆめクラブ大学》

老人クラブ会員以外の人を含め、高齢者を対象として、湘南、県央、西湘、足柄上、横三、相模原の県下6ブロックで「ゆめクラブ大学」を間開催し、健康づくり、健康体操、介護予防に関する講座などを実施した。 860人

《地域支援事業担い手養成研修事業》

老人クラブ会員以外の人も含め、高齢者が地域支援事業の担い手として活躍するために必要な知識や技能を習得するための研修を実施し、社会参加の普及推進を図った。

- ・地域助け合い研修（相模原市の2地区） 118人
- ・ICT活用研修（平塚市、鎌倉市の2地区） 217人
- ・シンポジウム（1回）

コロナの影響を考慮し、参集は避けてオンライン形式で開催した。

実施日：令和5年3月7日 会場 神奈川県社会福祉センター

アクセス数：160

事例発表

- ① みんながほっとする！ホットな地域づくり（相模原市）
- ② シニアの ICT 向上はまずスマホの LINE から（平塚市）
- ③ スマホでつながってみた～役員の勉強会～（みらいふる鎌倉）
- ④ 「デジタル活用支援事業」を行ってみました（大井町社協）

講演 地域活動はどうなったか

～超高齢化社会と新しい生活様式のはざままで～

ダイヤ高齢社会研究財団 澤岡 詩野

## 2 生きがい及び文化活動に関する事業

### (1) かながわシニアスポーツフェスタ2022への協賛と参加

(公社) かながわ福祉サービス振興会が主催する高齢者の日頃の健康づくり、スポーツ活動の成果の発表の場としての事業を後援し会員の参加を呼びかけた。

日 程：令和3年4月～4年3月 各種目ごとに県内各地域で実施

主な会場：神奈川県立スポーツセンター ほか

競技種目：ゴルフ、ウォークラリー、軟式野球、ソフトバレーボール、  
インディアカ、ダンス、囲碁、健康マージャンなど31種目

な

## なかまを広げて仲良く生きる

### 1 高齢者相互支援事業に関する事業

#### (1) 老人クラブ友愛チーム活動事業の推進（県補助事業）

高齢者相互支援事業の一環として、老人クラブ会員を中心に友愛チームを編成し、在宅者等を対象に日常生活の簡単な支援や話し相手となった。

友愛チームの設置：26市町老連 459チーム(内57チームは半期のみ)

(相模原市老連は別に132チーム)

#### (2) 友愛活動等支援事業の実施（県補助事業）

多くの高齢者が地域社会の中で生きがいのある生活を送れるよう、友愛サロン、健康に関する講座やパークゴルフなどのスポーツ活動等を県下30市町村老連で開催した。

参加者：3,571人

#### (3) 友愛チーム資質向上研修会の開催（県委託事業）

全国三大運動の一つとして位置づけられている友愛チーム活動について、県下6ブロックで、具体的実践活動を行う友愛チーム員の資質向上研修会を実施した。

参加者：575人

## 2 社会参加活動に関する事業

### (1) 地域活動支援事業

#### ア 老人クラブ開放・地域連携モデル事業

市町村老連が行う老人クラブ活動を広く地域の人々に広報するとともに、世代間、地域間の交流を深める事業を支援した。

実施老連：7町市老連

参加者：875人

#### イ 地域の安全安心支援事業

子供の見守り活動を行っている単位クラでの登下校を中心とした見守り活動、特殊詐欺被害防止の研修会など、安全安心な地域づくり事業を支援した。

実施老連：6市町老連

参加者：4,081人

#### ウ 情報機器活用支援事業

市町村老連で進めるパソコン活用のための研修会の開催等を支援した。

実施老連：5市町老連

参加者：648人

(2) 老人クラブ社会奉仕の日統一活動の実施

各市町村老連において、美化活動・環境にやさしい活動等を行った。

実施日：令和4年9月20日を中心とした時期

参加者：延べ1,409単位クラブ、延べ21,011人

(3) 共同募金街頭活動

赤い羽根共同募金運動に対して女性会議も協力して街頭募金活動を行った。

実施日：令和4年10月3日

場 所：桜木町駅

参加者：小澤アヤ子(横須賀市)、佐久間操(藤沢市)

中村民世(茅ヶ崎市)

が

学習・参加で豊かに生きる

1 市町村老連の強化及び指導者の養成

(1) 県老連役員研修会の開催

実施日：令和4年7月22日(第1回)

会場：かながわ県民センター

研修テーマ：持続可能な老人クラブについて考える

講演 神奈川県の高齢福祉施策と老人クラブに期待すること

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課長 垣中 直也

討議 神奈川県老人クラブ連合会の役割等について

実施日：令和4年12月16日(第2回)

会 場：かながわ県民センター

全体テーマ：持続可能な老人クラブ活動について考える

専門部会討議テーマ：

「か」部会 耕作放棄地や農地を活用した老人クラブ活動

「な」部会 友愛

「が」部会 県老連は何をすべきか、何を期待されているか

「わ」部会 単位クラブの魅力創生プラン～会員減少、解散防止の為に

(2) ブロック別単位クラブリーダー・新任会長等研修会の開催

単位老人クラブリーダー及び新任会長を中心に、その資質の向上を目的に県下を6ブロックで実施した。

参加者：361人

(3) ゆめクラブ神奈川女性会議研修会の開催

第1回

実施日：令和4年5月24日

会 場：かながわ県民センター

ア) 令和3年度活動報告と令和4年度事業予定

イ) ねんりんピックかながわ地域文化伝承館 手作り記念品の作成

## 第2回

実施日：令和5年1月20日

会場：かながわ県民センター

ア) かながわSDGsパートナーについて

講演：SDGsの基礎知識とみどりを守り育てる事業

かながわトラストみどり財団 壺崎 昌和

イ) ブロック別情報交換

### (4) 関東甲信越静岡ブロック研修会等への参加

ア 老人クラブリーダー研修会

実施日：令和4年6月23-24日

会場：新潟県越後湯沢

基調講演：老人クラブの現状と課題(全老連)

パネルディスカッション：コロナ禍でも高齢者のつながりをたやさないために

県老連からの参加者：8名

イ 活動推進員等研修会

持回り順により、千葉市老連の主催により書面開催された。

実施日：令和4年12月14日

情報交換：1 e-スポーツ導入状況

2 デジタルサポートの取組み

### (5) 全老連研修会等への参加

「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」

実施日：令和4年12月2日

県老連から会員3名（南足柄市・開成町老連）が参加した。

「基調報告」と講演

- ① 地域で取り組む健康づくりと支え合い
- ② 口のささいな衰えを見逃すな
- ③ 高齢期の運動による健康づくり・介護予防

## 2 広報活動事業の実施

### (1) 広報紙『ゆめジャーナル神奈川』の発行

県老連が単位クラブを経由して身近な情報を各クラブ会員に提供することにより県老連と会員との絆を深め、さらには市町村老連との連携強化のため「ゆめジャーナル神奈川」の発行を行った。

発行回数：2回（7月、1月）

発効部数：1万8千部

発行方法：市町村老連を通じて単位クラブ会長へ配布

また、紙面の企画・編集について編集委員会による「ゆめジャーナル神奈川」の評価と編集内容について委員会を開催した。

開催月日	内 容	会 場
4.9.16	1 令和5年新年号(第204号)の企画内容について	かながわ県民センター

3.3.10	1 令和5年7月号(第205号)の企画内容について	かながわ県民センター
--------	---------------------------	------------

(2) ゆめクラブ神奈川ホームページによる広報

県老連の活動内容をより分かりやすくするとともに、広く一般県民に周知するために県老連事業の活動報告、県老連の概要、機関紙「ゆめジャーナル」、新着情報、お役立ち情報、ツイッターなどを掲載し、老人クラブへの理解と参加を発信した。一作昨年度から、スマートフォンでの閲覧にも対応可能となった。

### 3 調査及び情報の収集提供等

(1) 市町村老連実態調査の実施

市町村老連の組織状況及び活動状況について調査した。

(2) 県老連事業情報の提供と市町村老連行事の収集を行った。



## わくわくニコニコ楽しく生きる

### 1 役員会の開催

(1) 正副理事長会議の開催

県老連の運営・企画に関する事項について正副理事長会議を開催した。

開催回数：10回

(2) 理事会の開催

令和3年度事業・決算報告、理事候補者の評議員会への推薦、監事候補者の評議員会への推薦、正副理事長及び常務理事の選任、評議員会の書面開催、令和4年度事業執行状況、令和5年度事業計画・収支予算、評議員会の開催について協議を行った。

開催回数：4回

(3) 評議員会の開催

令和3年度事業・決算報告、理事・監事・評議員の選任、及び令和5年度事業計画及び収支予算について協議を行った。

開催回数：2回

(4) 監事会

令和3年度事業及び決算について、監事による監査を行った。

実施日：令和4年5月9日

### 2 老人クラブの組織の強化

(1) 会員増強運動の推進

各市町村老連において、老人クラブ加入促進月間推進要領による、10月から3月の加入促進期間を中心に、加入促進推進計画に基づいて運動を展開した。

### 3 各種大会、つどい等の開催及び参加

(1) 神奈川県老人クラブ等功労者のつどいの開催

実施日：令和4年12月1日

会 場：神奈川県大会議場

永年、老人クラブ活動に功績のあった個人及び団体に対して顕彰を行った。  
また、高齢者福祉関係功労者等の知事表彰を併せて行った。

受賞者：知事表彰 5個人・4団体・友愛チーム5団体

理事長表彰 15団体・46個人・友愛チーム17団体

(2) 令和4年新年賀詞交歓会の開催

新型コロナウイルス感染症に配慮し、開催を見送った。

(3) 全国老人クラブ大会への参加

実施日：令和4年11月8日

会 場：両国国技館

《厚生労働大臣表彰の受賞者》

1 育成功労者

樋口恢作(南足柄市)、川松賢治(三浦市)

安藤正義(相模原市)、板倉忠臣(相模原市)

2 優良クラブ

箱根長寿会

相模台団地寿会

3 優良老連

清川村緑ことぶき連合会

《全老連会長表彰の受賞者》

1 育成功労者：

① 都道府県老連役員 山田耕嗣(藤沢市)

② 郡市区町村老連役員 矢吹 浩(山北町)

2 優良老人クラブ連合会：綾瀬市老人クラブ連合会

3 優良老人クラブ：ハイランド三丁目悠遊クラブ(横須賀市)

4 活動賞：湘南鷹取二丁目睦会

### 4 連絡調整事業の実施

(1) 県下ブロック老連連絡調整会議

県下市町村老連を6ブロックに区分し、幹事老連を事務局として、市町村老連の情報交換と県老連事業の企画のために連絡調整会議を行った。

6ブロック：計31回

(2) 市町村老連事務局長(担当者)会議の開催

市町村老連、ブロック老連と県老連の連携を密にすることにより、相互の事業が充実することを目的とする会議。

開催日：令和5年3月24日

会 場：かながわ県民センター

議 題：令和4年度補助金等実績報告書の提出について

令和5年度事業計画及び収支予算について

令和5年度補助金等交付申請書の提出について  
ねんりんピックかながわ2022 地域文化伝承館について  
令和5年度重点目標について

- (3) ブロック及び市町村老連が開催する大会等への参加  
ブロック老連や市町村老連が開催する連絡会議、研修会、グラウンド・ゴルフ大会に職員を派遣した。
- (4) 県、政令市老連連絡調整会議  
県老連、横浜市老連及び川崎市老連の三者が、各老連が抱える課題等について、情報提供や意見交換を行った。  
開催日：令和4年12月23日  
場 所：かながわ県民センター  
参加者：8名  
議 題：令和5年度の予算、事業計画について  
その他情報提供、意見交換
- (5) 関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会  
開催日：令和4年10月13-14日  
会 場：横浜みなとみらい 万葉倶楽部  
協議事項  
老人クラブの活性化(横浜市老連の取組の事例発表)  
意見交換  
女性役員の登用
- (6) 全国老人クラブ連合会  
理事長、女性会議代表、事務局長が参加した会議  
令和5年2月2日 都道府県・指定都市老連代表者会議  
令和5年3月14日 評議員会
- (7) 神奈川県、神奈川県社協等  
神奈川県の各局が主管する審議会や委員会、協議会・部会等並びに(福)神奈川県社会福祉協議会評議員会等に役職員が構成員として参画した。

## 5 財政基盤の確立及び募金運動の展開

- (1) 財政基盤の確立
- ア ゆめクラブ活性化推進事業募金運動の実施  
期 間：令和4年4月～令和5年3月  
募金額：389,627円
- イ 県老連60周年記念事業  
事業活動基金を活用して、歌集「こころの歌100選」を作成した。
- ウ 事業活動基金管理委員会の開催  
事業活動基金の募金活動方法等について委員会を開催した。

## 第1回

開催日：令和4年9月12日

場 所：かながわ県民センター

議 題：令和4年度募金の活用について  
ゆめクラブ神奈川事業活動基金の推移

## 第2回

開催日：令和4年12月13日

場 所：かながわ県民センター

議 題：10月の正副理事長会議への提案について  
ゆめクラブ神奈川活動基金の推移  
(事業活動基金中間報告)  
募金活用について  
(募金振込用紙の検討、募金箱の作成)

## エ 県への予算要望活動等

- ① 持続可能な老人クラブ活動への支援
- ② 市町村や自治会等を通じた若手会員加入への支援
- ③ 県委託・補助事業の見直し
- ④ 友愛チームへの支援
- ⑤ 活動推進員の人件費の確保 等について書面により  
県知事、県議会議長、県議会厚生常任委員会委員長へ予算要望を行った。

## ねんりんピックかながわ2022 地域文化伝承館の開催

(主管団体)

全国老人クラブ連合会、神奈川県老人クラブ連合会  
横浜市老人クラブ連合会、川崎市老人クラブ連合会  
相模原市老人クラブ連合会

(会 期) 令和4年度11月12～14日

(会 場) 横浜産貿ホール、神奈川県立県民ホール

(来館者) 65,321人(3日間計・神奈川県発表)

(出 展) 24団体 (3日間の延べ出展者数 270人)

(出 演) 県民ホール来場者 1,500人

ステージ出演団体 22団体(出演者 327人)

(実績報告) 令和5年3月20日 実行委員会で報告

(地域文化伝承館報告書)

DVD ダイジェスト版、オンステージ DVD を作成し、全国の老人クラブ連合会、  
関係機関、県内市町村老人クラブ連合会、出展・出演団体へ送付した。

(事業費実績報告) 15,627,978円 ― 全額 国、県、3政令市からの補助金

## 専門部会による活動

理事長から、各副理事長が中心となって、「か」「な」「が」「わ」の部会毎に事業の内容について検討することが求められ、12月の役員研修会では、副理事長が討議テーマを設定し、各部会毎に意見交換が行われた。

この他、「が」部会と「わ」部会では以下の活動があった。

◇ 「が」部会

広報、調査、研修の3つのグループに分けて事業の検討を進めることとした。

- ① 広報グループ(12月23日、2月27日)  
県老連からの情報提供の充実等を目的に、ゆめジャーナル神奈川の発行回数や発行部数の増について、ニチコミとの協議を行った。
- ② 調査グループ(2月28日)  
県老連の調査活動について協議を開始した。
- ③ 研修グループ(3月15日)  
県老連の研修活動について協議を開始した。

◇ 「わ」部会

10月7日、11月4日、12月16日(役員研修会)での検討を経て、正副理事長会、理事会に対して答申が提出された。

- ◎ 女性の活力の活用、友愛活動の充実を令和5年度重点事業へ
- ◎ 単位クラブの魅力創生プランづくり、地域関係者との連携構築
- ◎ 魅力あふれるゆめクラブかながわの再生(検討組織の設置)

#### 令和4年度新規・重点事業への取り組み

- (1)ねんりんピックかながわ2022  
3政令市老連との協力により、上記6のとおり計画通り実施した。
- (2)県老連60周年記念事業(歌集の作成)  
事業活動基金を活用し、また県共同募金会からの寄付金を得て2,000部を作成し、単位クラブへ各1冊を送付した。
- (3)会員増強計画への取り組みの強化  
コロナ禍の影響によりクラブ数、会員数で大幅な減少が見込まれる(詳細は7月1日の実態調査で把握)。引き続き、令和5年度の取組強化が求められる。
- (4)ICTを活用した仲間づくりの促進  
地域活動支援事業費、地域支援事業担い手養成研修事業(新しい生活様式でつながる研修、シンポジウム)等で普及に努めた。
- (5)関係団体等との連携  
令和4年度は、地球環境問題への関心から、かながわSDGSパートナーに登録し、女性会議では「かながわトラストみどり財団」の協力を得て研修会を実施した。
- (6)県老連の財政再建に向けた見直し  
県老連の財政再建は喫緊の課題であり、財政問題に限らず、広く県老連の見直しに取り組む検討組織を令和5年度に設置することが、専門部会の「わ」部会からの答申で求められ、具体的な進め方について検討している。

令和4年度

# 収支決算

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆめクラブ神奈川  
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

# 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	13,664,451	9,050,842	4,613,609
未収金	84,000	210,396	△ 126,396
流動資産合計	13,748,451	9,261,238	4,487,213
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	12,310,000	22,310,000	△ 10,000,000
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	22,310,000	32,310,000	△ 10,000,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,936,413	1,582,413	354,000
特定資産合計	1,936,413	1,582,413	354,000
固定資産合計	24,246,413	33,892,413	△ 9,646,000
資産合計	37,994,864	43,153,651	△ 5,158,787
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	252,585	3,314,661	△ 3,062,076
預り金	3,094,909	115,586	2,979,323
賞与引当金	861,000	844,000	17,000
流動負債合計	4,208,494	4,274,247	△ 65,753
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,936,413	1,582,413	354,000
固定負債合計	1,936,413	1,582,413	354,000
負債合計	6,144,907	5,856,660	288,247
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	30,849,957	36,296,991	△ 5,447,034
(うち基本財産への充当額)	(21,310,000)	(31,310,000)	(△ 10,000,000)
正味財産合計	31,849,957	37,296,991	△ 5,447,034
負債及び正味財産合計	37,994,864	43,153,651	△ 5,158,787

# 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	25,391	23,236	2,155
基本財産受取利息	25,391	23,236	2,155
受取分担金	7,279,000	7,842,500	△ 563,500
受取分担金	7,279,000	7,842,500	△ 563,500
事業収益	130,000	320,000	△ 190,000
機関紙等収益	130,000	320,000	△ 190,000
受取補助金等	15,075,142	17,659,388	△ 2,584,246
受取地方公共団体補助金	14,461,000	17,559,388	△ 3,098,388
受取民間補助金	614,142	100,000	514,142
受取委託費	6,487,000	6,487,000	0
受取地方公共団体委託費	6,487,000	6,487,000	0
受取寄付金	598,627	723,309	△ 124,682
受取寄付金	19,000	1,000	18,000
受取県共募寄付金	0	150,000	△ 150,000
受取事業活動基金	389,627	282,309	107,318
受取賛助会費	190,000	290,000	△ 100,000
雑収益	175,861	331,229	△ 155,368
受取利息	120	111	9
雑収益	175,741	331,118	△ 155,377
経常収益計	<b>29,771,021</b>	<b>33,386,662</b>	<b>△ 3,615,641</b>
(2) 経常費用			
事業費	30,510,840	31,933,488	△ 1,422,648
給料手当	9,046,528	8,803,519	243,009
賞与引当金繰入	704,000	690,000	14,000
退職給付費用	300,000	450,000	△ 150,000
法定福利費	1,555,742	1,479,621	76,121
共済掛金	123,510	121,383	2,127
福利厚生費	86,614	60,537	26,077
会議費	97,402	116,284	△ 18,882
旅費交通費	529,674	354,798	174,876
通信運搬費	597,387	1,082,823	△ 485,436
消耗品費	554,925	1,629,861	△ 1,074,936
印刷製本費	1,687,653	2,234,507	△ 546,854
修繕維持費	442,913	156,132	286,781
賃借料	1,285,497	1,532,909	△ 247,412
諸謝金	160,000	132,193	27,807
支払手数料	122,595	115,067	7,528
租税公課	11,200	10,200	1,000
支払負担金	61,000	13,000	48,000
支払助成金	12,652,500	12,022,804	629,696
委託費	491,700	927,850	△ 436,150

管理費	4,707,215	4,783,528	△ 76,313
給料手当	2,063,424	1,992,292	71,132
賞与引当金繰入	157,000	154,000	3,000
退職給付費用	54,000	63,000	△ 9,000
法定福利費	351,902	332,978	18,924
共済掛金	26,490	25,617	873
福利厚生費	21,241	13,982	7,259
会議費	15,611	11,429	4,182
旅費交通費	288,399	103,929	184,470
役員費	74,200	24,200	50,000
通信運搬費	79,454	165,950	△ 86,496
消耗品費	29,960	484,332	△ 454,372
印刷製本費	3,654	0	3,654
修繕維持費	112,115	33,649	78,466
賃借料	407,043	287,699	119,344
支払手数料	515,922	586,271	△ 70,349
租税公課	1,300	200	1,100
支払負担金	505,500	504,000	1,500
経常費用計	35,218,055	36,717,016	△ 1,498,961
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,447,034	△ 3,330,354	△ 2,116,680
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,447,034	△ 3,330,354	△ 2,116,680
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,447,034	△ 3,330,354	△ 2,116,680
一般正味財産期首残高	36,296,991	39,627,345	△ 3,330,354
一般正味財産期末残高	30,849,957	36,296,991	△ 5,447,034
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000	1,000,000	0
III 正味財産期末残高	31,849,957	37,296,991	△ 5,447,034

# 正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	25,391	0	0	25,391
基本財産受取利息	25,391	0	0	25,391
受取分担金	3,639,500	0	3,639,500	7,279,000
受取分担金	3,639,500	0	3,639,500	7,279,000
事業収益	130,000	0	0	130,000
機関紙等収益	130,000	0	0	130,000
受取補助金等	15,075,142	0	0	15,075,142
受取地方公共団体補助金	14,461,000	0	0	14,461,000
受取民間補助金	614,142	0	0	614,142
受取委託費	6,487,000	0	0	6,487,000
受取地方公共団体委託費	6,487,000	0	0	6,487,000
受取寄付金	598,627	0	0	598,627
受取寄付金	19,000	0	0	19,000
受取事業活動基金	389,627	0	0	389,627
受取賛助会費	190,000	0	0	190,000
雑収益	175,826	0	35	175,861
受取利息	85	0	35	120
雑収益	175,741	0	0	175,741
<b>経常収益計</b>	<b>26,131,486</b>	<b>0</b>	<b>3,639,535</b>	<b>29,771,021</b>
(2) 経常費用				
事業費	30,062,848	447,992	0	30,510,840
給料手当	8,706,900	339,628	0	9,046,528
賞与引当金繰入	677,000	27,000	0	704,000
退職給付費用	286,000	14,000	0	300,000
法定福利費	1,496,808	58,934	0	1,555,742
共済掛金	118,158	5,352	0	123,510
福利厚生費	83,536	3,078	0	86,614
会議費	97,402	0	0	97,402
旅費交通費	529,674	0	0	529,674
通信運搬費	597,387	0	0	597,387
消耗品費	554,925	0	0	554,925
印刷製本費	1,687,653	0	0	1,687,653
修繕維持費	442,913	0	0	442,913
賃借料	1,285,497	0	0	1,285,497
諸謝金	160,000	0	0	160,000
支払手数料	122,595	0	0	122,595
租税公課	11,200	0	0	11,200
支払負担金	61,000	0	0	61,000
支払助成金	12,652,500	0	0	12,652,500
委託費	491,700	0	0	491,700

管理費	0	0	4,707,215	4,707,215
給料手当	0	0	2,063,424	2,063,424
賞与引当金繰入	0	0	157,000	157,000
退職給付費用	0	0	54,000	54,000
法定福利費	0	0	351,902	351,902
共済掛金	0	0	26,490	26,490
福利厚生費	0	0	21,241	21,241
会議費	0	0	15,611	15,611
旅費交通費	0	0	288,399	288,399
役員費	0	0	74,200	74,200
通信運搬費	0	0	79,454	79,454
消耗品費	0	0	29,960	29,960
印刷製本費	0	0	3,654	3,654
修繕維持費	0	0	112,115	112,115
賃借料	0	0	407,043	407,043
支払手数料	0	0	515,922	515,922
租税公課	0	0	1,300	1,300
支払負担金	0	0	505,500	505,500
経常費用計	30,062,848	447,992	4,707,215	35,218,055
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,931,362	△ 447,992	△ 1,067,680	△ 5,447,034
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,931,362	△ 447,992	△ 1,067,680	△ 5,447,034
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 3,931,362	△ 447,992	△ 1,067,680	△ 5,447,034
当期一般正味財産増減額	△ 3,931,362	△ 447,992	△ 1,067,680	△ 5,447,034
一般正味財産期首残高	35,088,579	△ 339,351	1,547,763	36,296,991
一般正味財産期末残高	31,157,217	△ 787,343	480,083	30,849,957
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	0	0	1,000,000
指定正味財産期末残高	1,000,000	0	0	1,000,000
III 正味財産期末残高	32,157,217	△ 787,343	480,083	31,849,957

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・ 満期保有目的の債券  
償却原価法(定額法)によっている。

(2) 引当金の評価基準

① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位: 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	22,310,000	0	10,000,000	12,310,000
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	32,310,000	0	10,000,000	22,310,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,582,413	354,000	0	1,936,413
小 計	1,582,413	354,000	0	1,936,413
合 計	33,892,413	354,000	10,000,000	24,246,413

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位: 円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	12,310,000	(1,000,000)	(11,310,000)	—
投資有価証券	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
小 計	22,310,000	(1,000,000)	(21,310,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	1,936,413	—	—	(1,936,413)
小 計	1,936,413	—	—	(1,936,413)
合 計	24,246,413	(1,000,000)	(21,310,000)	(1,936,413)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位: 円)

種 類 及 び 銘 柄	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
神奈川県第229回公募公債	10,000,000	10,006,610	6,610
合 計	10,000,000	10,006,610	6,610

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位: 円)

補 助 金 等 の 名 称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
事業費補助金	神奈川県	0	14,461,000	14,461,000	0	—
		0	0	0	0	—
合 計		0	14,461,000	14,461,000	0	

## 6. 引当金の明細

(単位: 円)

科 目	期 首 残 高	当期増加額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	そ の 他	
賞与引当金	844,000	861,000	844,000	0	861,000
退職給付引当金	1,582,413	354,000	0	0	1,936,413

## 7. 退職給付関係

### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度及び神奈川県福利協会の退職金共済によっている。

### (2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務 … 1,936,413 円

### (3) 退職給付費用に関する事項

勤務費用(県老連) … 354,000 円

勤務費用(福利協会) … 150,000 円

### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額によっている。

## 8. 資産除去債務に関する事項

当法人は、横浜市神奈川区の本部事務局について神奈川県からの県有財産賃貸借契約書に基づいて使用している。同契約書には退去時における原状回復義務が明記されているが、当該債務に関連する賃貸借期間が明確でなく、財産管理者から原状回復義務が免除される場合もあるため、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2. に記載をしているので、内容の記載を省略する。

### 2. 引当金の明細

財務諸表に対する注記6. に記載をしているので、内容の記載を省略する。

# 財 産 目 録

令和5年 3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
現金預金	現金	手元保管	運転資金として	81,426
	普通預金	三井住友信託銀行 横浜駅西口支店 横浜銀行 横浜駅前支店	運転資金として	12,668,313
	郵便貯金	横浜沢渡郵便局	運転資金として	824,900
		横浜駅西口郵便局	運転資金として	89,812
未収金	助成金の返金(友愛チーム活動費)	厚木市	19,000	
	助成金の返金(地域活動支援事業費)	厚木市	30,000	
	助成金の返金(友愛活動等支援事業)	中井町	35,000	
<b>流動資産合計</b>				<b>13,748,451</b>
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	定期預金	三井住友信託銀行 横浜駅西口支店	公益目的保有財産であり、運用益を老人クラブ事業の財源として使用している。	12,310,000
	投資有価証券	神奈川県第229回公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を老人クラブ事業の財源として使用している。	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	職員に対するもの	職員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	1,936,413
<b>固定資産合計</b>				<b>24,246,413</b>
<b>資産合計</b>				<b>37,994,864</b>
<b>(流動負債)</b>				
未払金	未払金	業者等未払額10件	業者、会計事務所、社会保険料等未払分	252,585
	預り金		所得税、社会保険料等預り分	3,094,909
	賞与引当金	職員	職員3名に対する賞与引当金	861,000
<b>流動負債合計</b>				<b>4,208,494</b>
<b>(固定負債)</b>				
	退職給付引当金	職員	職員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	1,936,413
<b>固定負債合計</b>				<b>1,936,413</b>
<b>負債合計</b>				<b>6,144,907</b>
<b>正味財産</b>				<b>31,849,957</b>

# 貸借対照表内訳表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合計
<b>I 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金預金	12,665,454	78,138	920,859	13,664,451
現金	0	0	81,426	81,426
普通預金	12,575,642	78,138	14,533	12,668,313
郵便貯金	89,812	0	824,900	914,712
未収金	84,000	0	0	84,000
会計・事業配賦	838,481	△ 838,481	0	0
流動資産合計	<b>13,587,935</b>	<b>△ 760,343</b>	<b>920,859</b>	<b>13,748,451</b>
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	12,310,000	0	0	12,310,000
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
基本財産合計	22,310,000	0	0	22,310,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	1,652,645	91,091	192,677	1,936,413
特定資産合計	1,652,645	91,091	192,677	1,936,413
固定資産合計	<b>23,962,645</b>	<b>91,091</b>	<b>192,677</b>	<b>24,246,413</b>
資産合計	<b>37,550,580</b>	<b>△ 669,252</b>	<b>1,113,536</b>	<b>37,994,864</b>
<b>II 負債の部</b>				
1. 流動負債				
未払金	16,477	0	236,108	252,585
預り金	3,047,241	0	47,668	3,094,909
賞与引当金	677,000	27,000	157,000	861,000
流動負債合計	<b>3,740,718</b>	<b>27,000</b>	<b>440,776</b>	<b>4,208,494</b>
2. 固定負債				
退職給付引当金	1,652,645	91,091	192,677	1,936,413
固定負債合計	1,652,645	91,091	192,677	1,936,413
負債合計	<b>5,393,363</b>	<b>118,091</b>	<b>633,453</b>	<b>6,144,907</b>
<b>III 正味財産の部</b>				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	1,000,000	0	0	1,000,000
(うち基本財産への充当額)	(1,000,000)	(0)	(0)	(1,000,000)
2. 一般正味財産				
一般正味財産	31,157,217	△ 787,343	480,083	30,849,957
(うち基本財産への充当額)	(21,310,000)	(0)	(0)	(21,310,000)
正味財産合計	<b>32,157,217</b>	<b>△ 787,343</b>	<b>480,083</b>	<b>31,849,957</b>
負債及び正味財産合計	<b>37,550,580</b>	<b>△ 669,252</b>	<b>1,113,536</b>	<b>37,994,864</b>

# 監査報告書

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会  
理事長 安藤正義 殿

令和5年5月8日  
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

監事 南川信雄 

私、監事は令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。